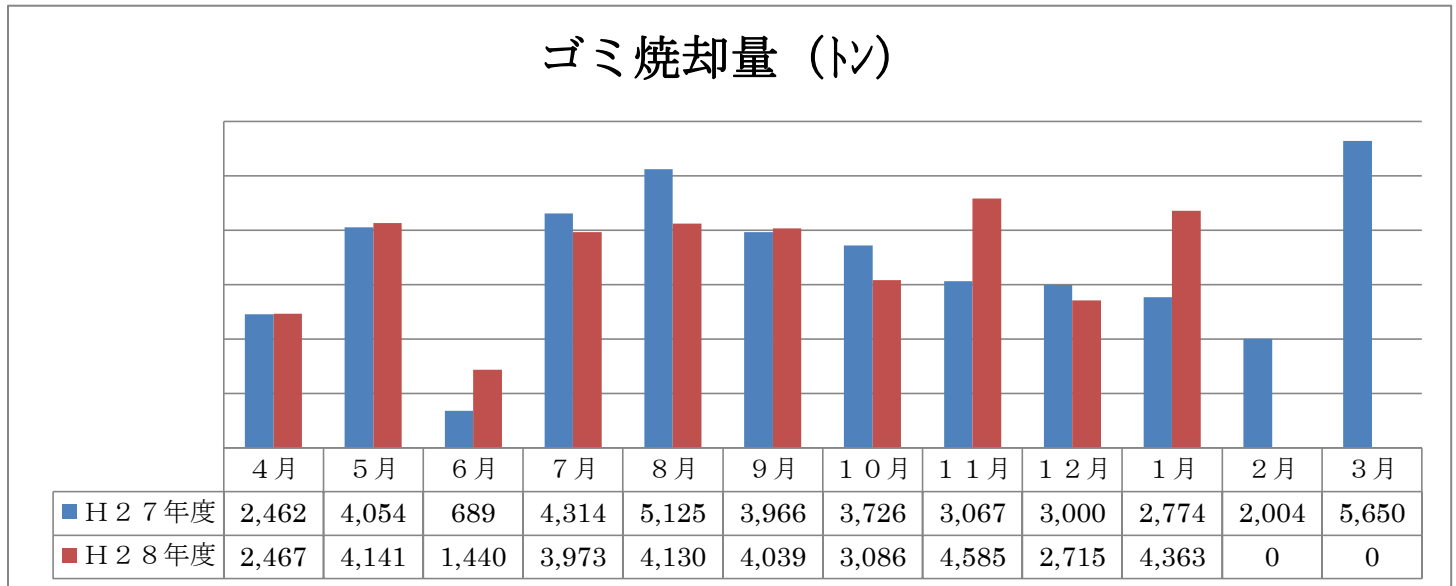


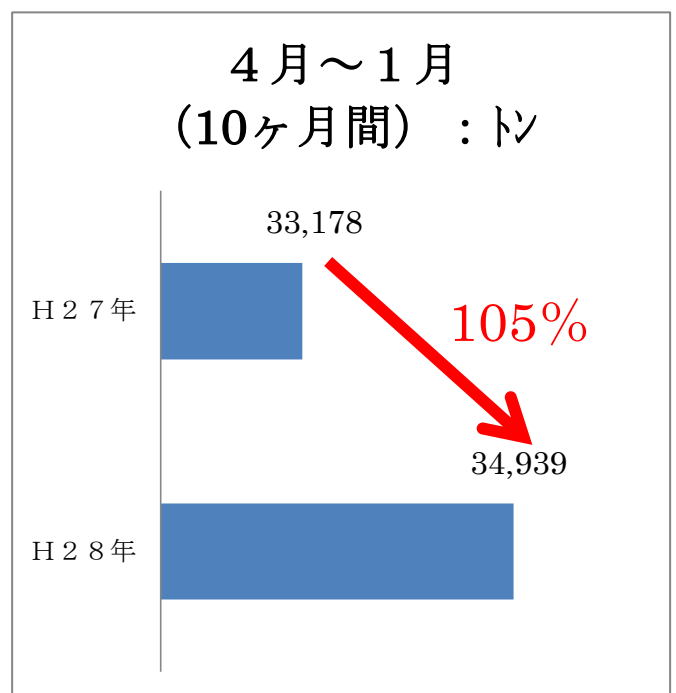
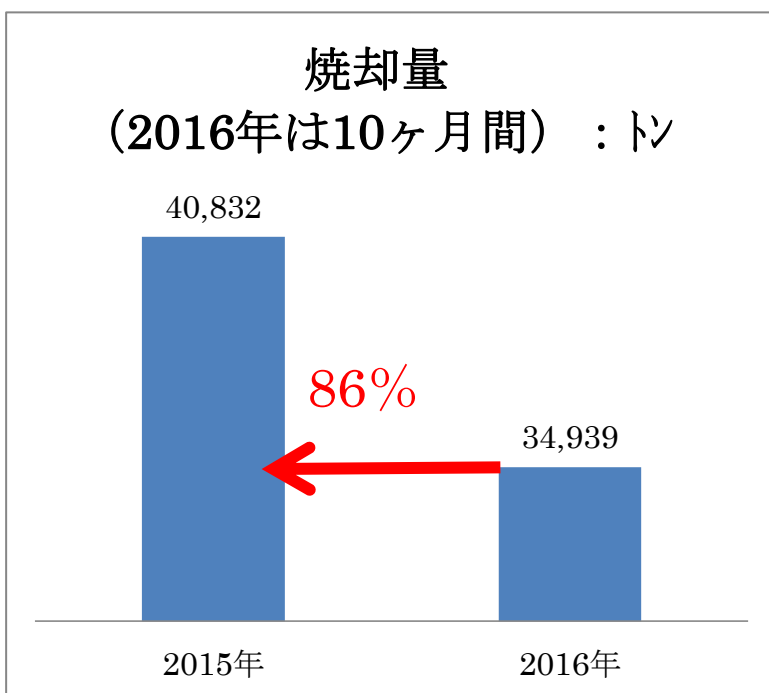
平成 29 年 1 月度：「ゴミ焼却量」「プラ混入率」「CO<sub>2</sub>排出量」

2017-2-17  
 温暖化防止ながれやま  
 可燃ごみ減量PJ  
 春田育男

1、ゴミ焼却量

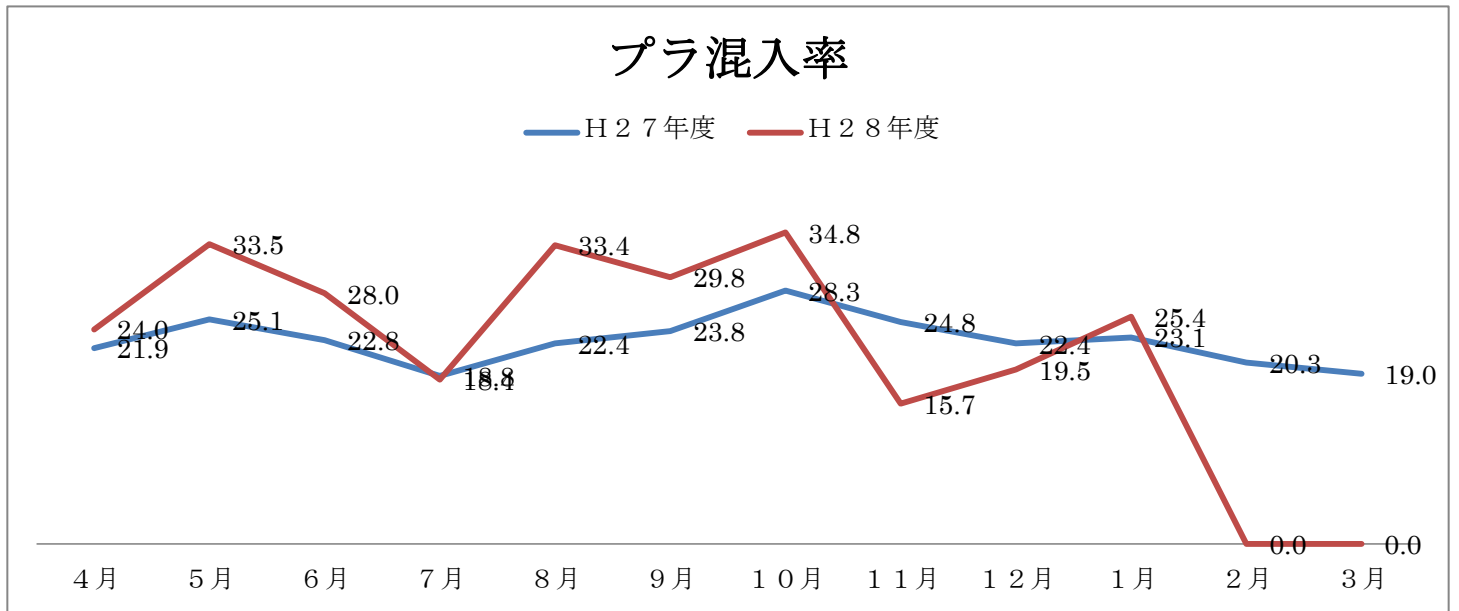


- \* 1 月のゴミ焼却量は、1 月として過去 3 年間で最高量。本年 11 月に次ぐ焼却量であった。
- \* 1 月の焼却量は 141 トン/日で、2 炉の能力 (138 トン/日) をオーバーしている。
- \* 3 炉での稼働となった。(1 炉の能力=69 トン/日)



- \* 2016 年は、10 ヶ月間 (4 月～1 月) のゴミ焼却量。(前年度の 86%)
- \* 1 月時点では前年度比 105%となっている。2 月、3 月を注視したい。
- \* 問題点は、プラスチックの焼却量が増加していることである。(下記)

## 2、プラ混入率

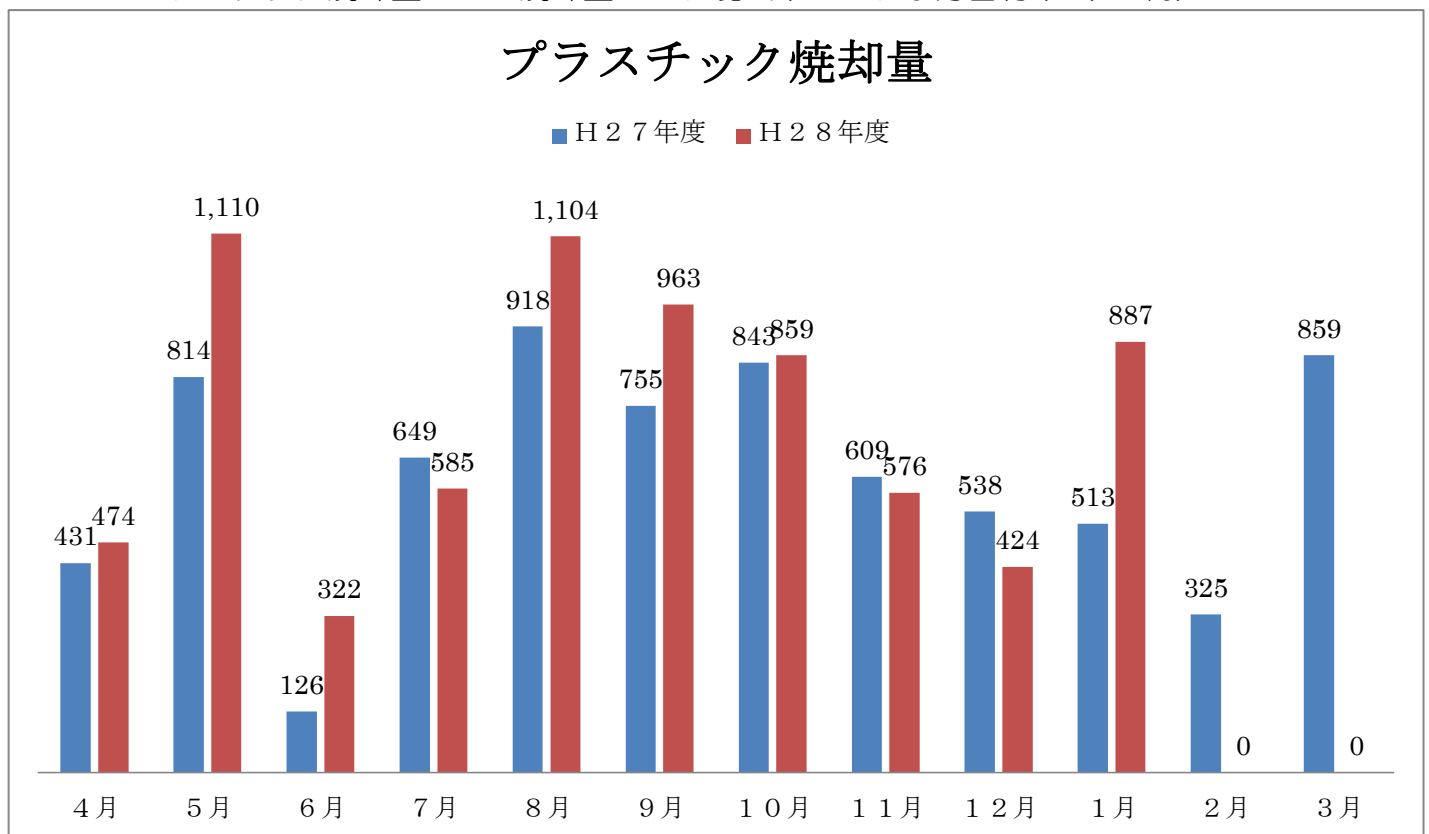


\*1月のプラ混入率は、25.4%で昨年（23.1%）より増加している。

\*10ヶ月間（4月～1月）の平均プラ混入率は、前年度（22.7%）に対して今年度（26.3%）で、3.6%増加している。

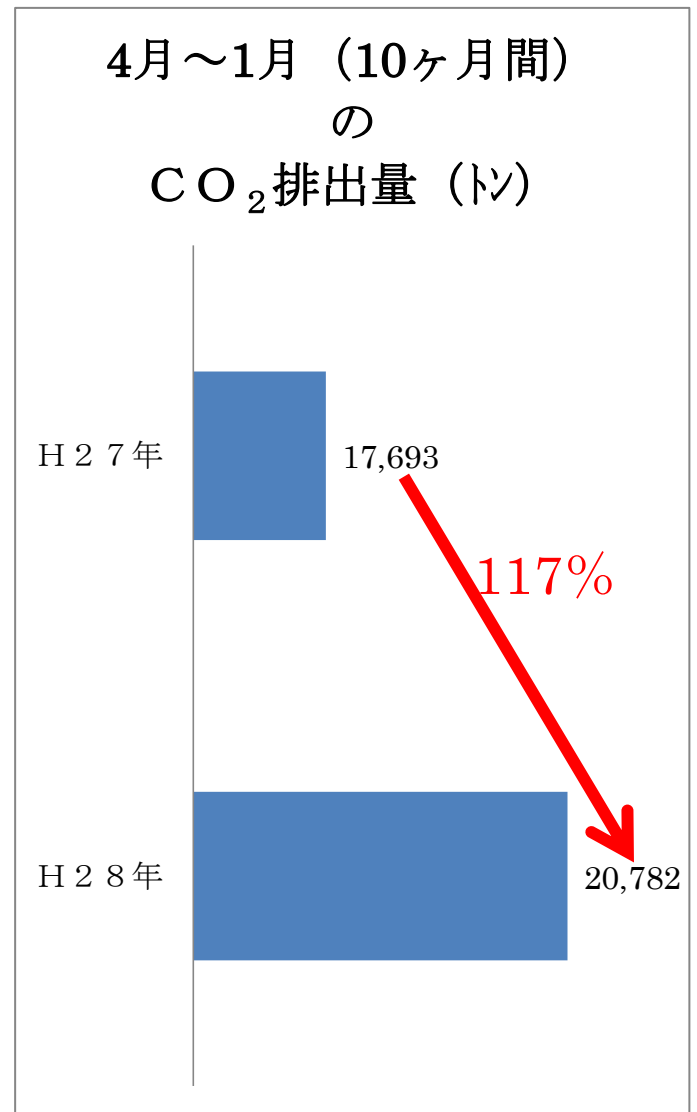
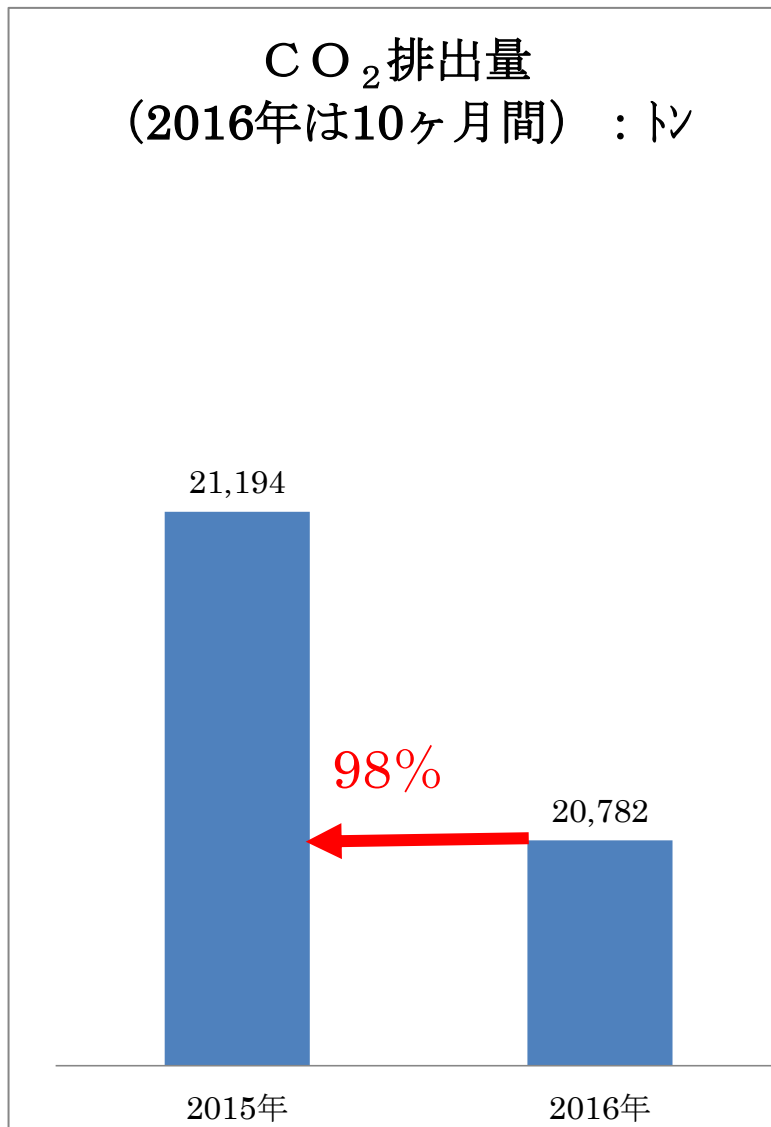
## 3、プラスチック焼却量

プラスチック焼却量＝ゴミ焼却量×プラ混入率×プラ水分含有率（80%）



\*プラスチック焼却量は8月から12月まで減少傾向にあったが1月は増加した。  
10ヶ月間（4月～1月）の累計量は昨年に比べ増加している。（117%）

#### 4、CO<sub>2</sub>排出量（t-CO<sub>2</sub>）



\*2016年は、10ヶ月間（4月～1月）のCO<sub>2</sub>排出量である。（前年の98%）

\*10ヶ月間（4月～1月）の累計は、昨年同比べ117%となっている。

このまま推移すると昨年よりCO<sub>2</sub>排出量は大幅に増加する。

\*プラ混入率を低減するか、更なるゴミ焼却量を減量する必要がある。

（注）流山市クリーンセンター全体からのCO<sub>2</sub>排出量は、  
上記数量に下記を加えた値となる。

①購入電力量に伴うCO<sub>2</sub>排出量

②燃料（灯油、LPG、軽油など）使用に伴うCO<sub>2</sub>排出量